

## 海と陸とのつながりを味わおう

“大阪湾”と聞いて、みなさんはどのようなイメージをお持ちですか？危ない？きたない？くさい？？？  
目の前にある海なのに、みなさんの生活から離れてしまった「近くて遠い」大阪湾。

本当は、みなさんの生活に恵みをもたらせてくれています。その恵みを実感し、大阪湾との関わり大切さを知るために、自分たちでお米と海苔を作って“My おむすび”を味わうイベントを2014年度より開催しています。

このイベントは、ストーリー型の体験イベントとして、1年間(田植え・生き物観察・稲刈り・海苔すき柀づくり・海苔すき体験・収穫祭:全6回)を通して参加することで、参加者に楽しみながら海と陸とのつながりの重要性を実感してもらうプログラムです。活動は主に阪南市～岬町(西鳥取漁港周辺・せんなん里海公園)で行っています。

※写真は2018年～2019年の活動の様子です。



### 【第1回:田植え】

毎年6月ごろに実施します。はじめて田植えをする子どもたちも多いようで、親子で泥の感触を楽しむ様子が見られます。田植えの前にはどろんこ遊びも行います。



### 【第2回:漁業体験】

7月～8月に簾立て漁や地引き網漁など漁業体験を行います。また、講師の先生をお招きして、タッチングプールでの魚の観察や浜での生き物観察も実施しています。大人も子どもも一緒になってみんなで楽しんでいます



簾立て漁(2018年)



地引き網漁(2019年)



タッチングプール(生き物観察)



### 【第3回:稲刈り】

9月ごろに地域の方の指導・サポートを受けて行います。親子が組になり、鎌を用いて刈り取ります。バッタなどの昆虫が飛び出てきて網を持って追いかける子どももあり、秋の田んぼを楽しむことができます。



### 【第4回:海苔のすき枠づくり】

12月~1月ごろに室内で行います。大阪湾の環境に関する学習会と海苔のすき枠づくりを行います。自分のデザインした形の海苔をつくるための作業です。



### 【第5回:海苔すき】

1月~2月ごろに西鳥取漁港にて海苔の摘み取りと前回作成したすき枠を用いた海苔すきを行います。海苔をすいて干せば、世界に一つ自分のデザインした海苔の完成です。



### 【第6回:収穫祭】

2月~3月ごろ自分で育てたお米とすいた海苔を使って「myおむすび」を作る収穫祭を開催します。自分で育てたお米と自分でデザインした海苔の試食です。いつもと違う格別なおにぎりを味わえますよ。



注)2019年度は新型コロナウイルス拡大防止のため、イベントを中止し、参加者の自宅にお米と自分ですいた海苔を発送しました。